

PORTATONE

PSR-28

取扱説明書



YAMAHA

このたびは、
ヤマハ・ポータトーンPSR-28を
お買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

この取扱説明書の見方

本書は、PSR-28の豊富な機能、操作方法を理解しやすいように、
少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になってい
ます。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。
また、次のような見方をされるのもアイデアです。

●全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。

●ボタン等のはたらきが分からなくなった時……


“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。

さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを
見る。

おことわり

本書では付属の和文シートを使用されることを前提とし、各部の名
称や機能等をなるべく日本語で明記するようにしました。(和文シ
ートについては、2ページを参照)

音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペーン
のシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。
特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑
をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、
窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快
楽な生活環境を守りましょう。

もくじ

1. ご使用の前に	ページ	4. ステップ2(活用編)	ページ
1. ご注意	2	1. フィンガードコードで演奏	15
2. 譜面立ての立て方	2	・練習曲(ラブ・ミー・テンダー)	16
3. 和文シートの使い方	2	・フィンガードコード一覧表	17
4. 電源のしたく	2	2. 打楽器を担当してしまおう(キーボードパーカッション)	19
2. 各部の名称とはたらき	3	3. コード進行を記憶させよう(コードシーケンサー)	19
3. ステップ1(基本編)		4. 他の機器と接続するには?	20
1. デモンストレーション曲を聴いてみよう	6	5. 資料	
2. 好きな音色で弾こう	7	1. 練習曲(とんぼ)	21
3. 音に効果を!(サスティン、デュアルボイス)	7	2. オプション(別売品)のご紹介	23
4. 音程を変えるには?(トランスポーズ)	8	3. おかしいな?と思ったら	24
5. 他の楽器と音程を合わせるには?(ピッチ)	8	4. 仕様	25
6. リズムに合わせて弾こう	9	5. 発音数一覧表	26
7. 低音側でベースパートの演奏をしよう		6. アフターサービスと保証	裏表紙
(マニュアルベース)	11		
・練習曲(青い影)	11		
8. シングルフィンガーコードで楽々演奏	12		
・シングルフィンガーコード一覧表	13		

1. ご使用の前に

1. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶついたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

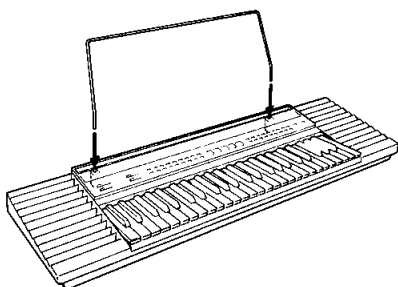
保管してください。



- ・この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

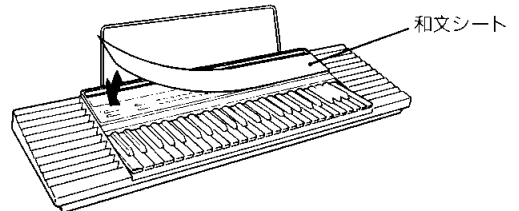
2. 譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、コントロールパネル面上方にある2つの穴に足を差し込んでお使いください。



3. 和文シートの使い方

付属の和文シートは粘着テープ式になっています。PSR-28のパネル面に貼り付けてお使いください。和文シートを使用すれば、各部の名称を日本語で読みとることができます。



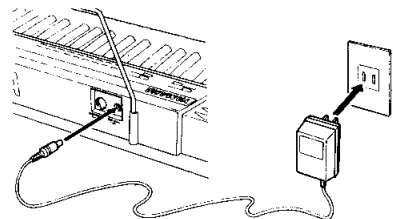
4. 電源のしたく

PSR-28は、家庭用コンセントでも乾電池でも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

家庭用コンセントから電源をとる場合

付属の電源アダプター・PA-1Bを使用します。図のように接続してください。

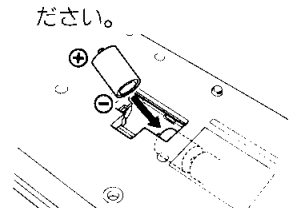
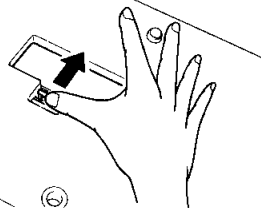
- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子(DC(9-12V)IN)へ差し込む。



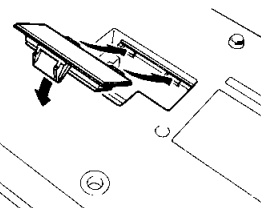
- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。
※他の電源アダプターは使わないでください。

乾電池を使う場合

- ①PSR-28を裏返し、電池ボックスを外します。
- ②市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。

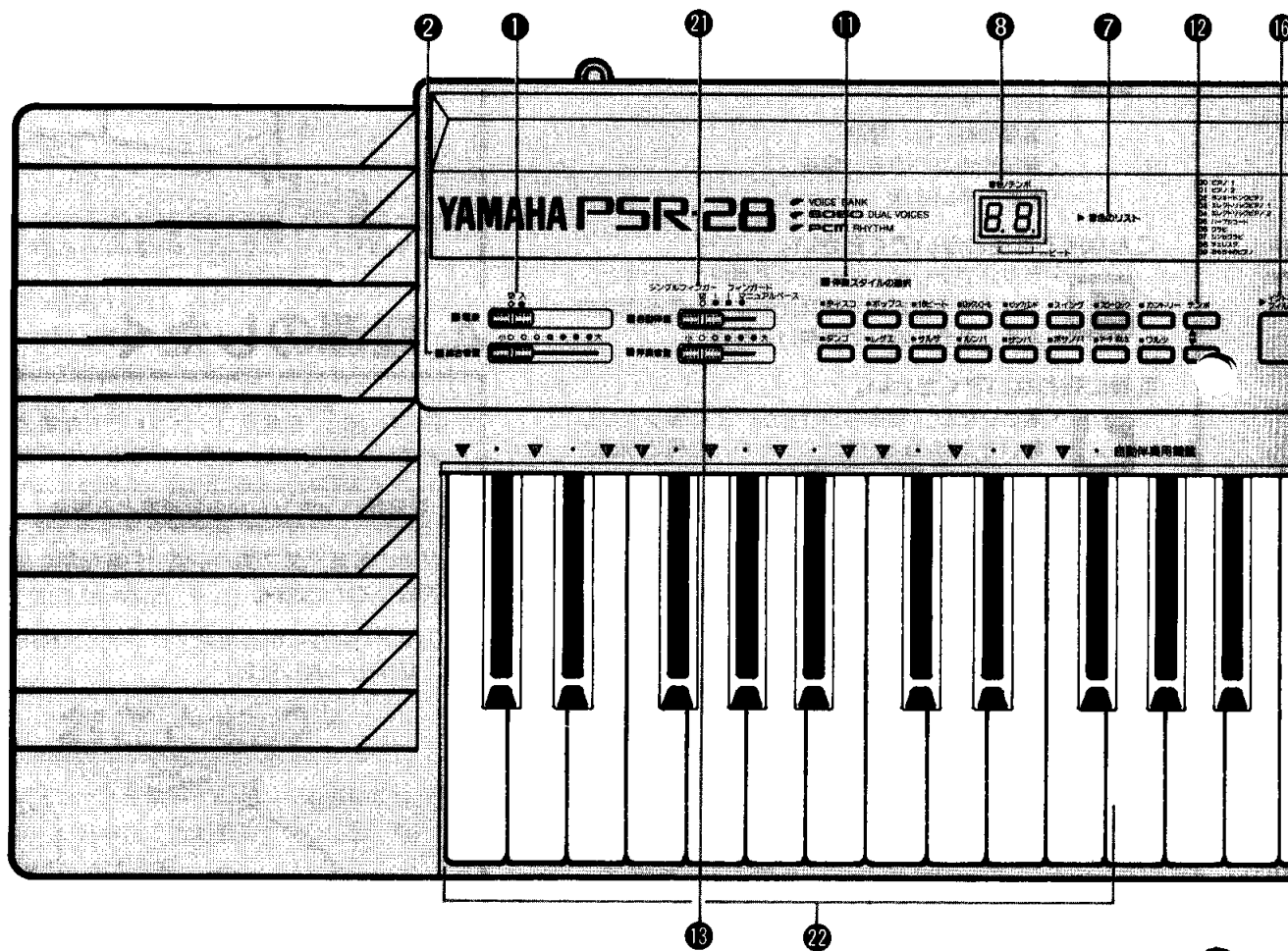


- ③乾電池を入れたら電池ボックスを閉めます。



※電池が少なくなりますと、音が歪んだり、誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。お買い求めの際、乾電池は単1乾電池6本をご指定ください。

2. 各部の名称とはたらき



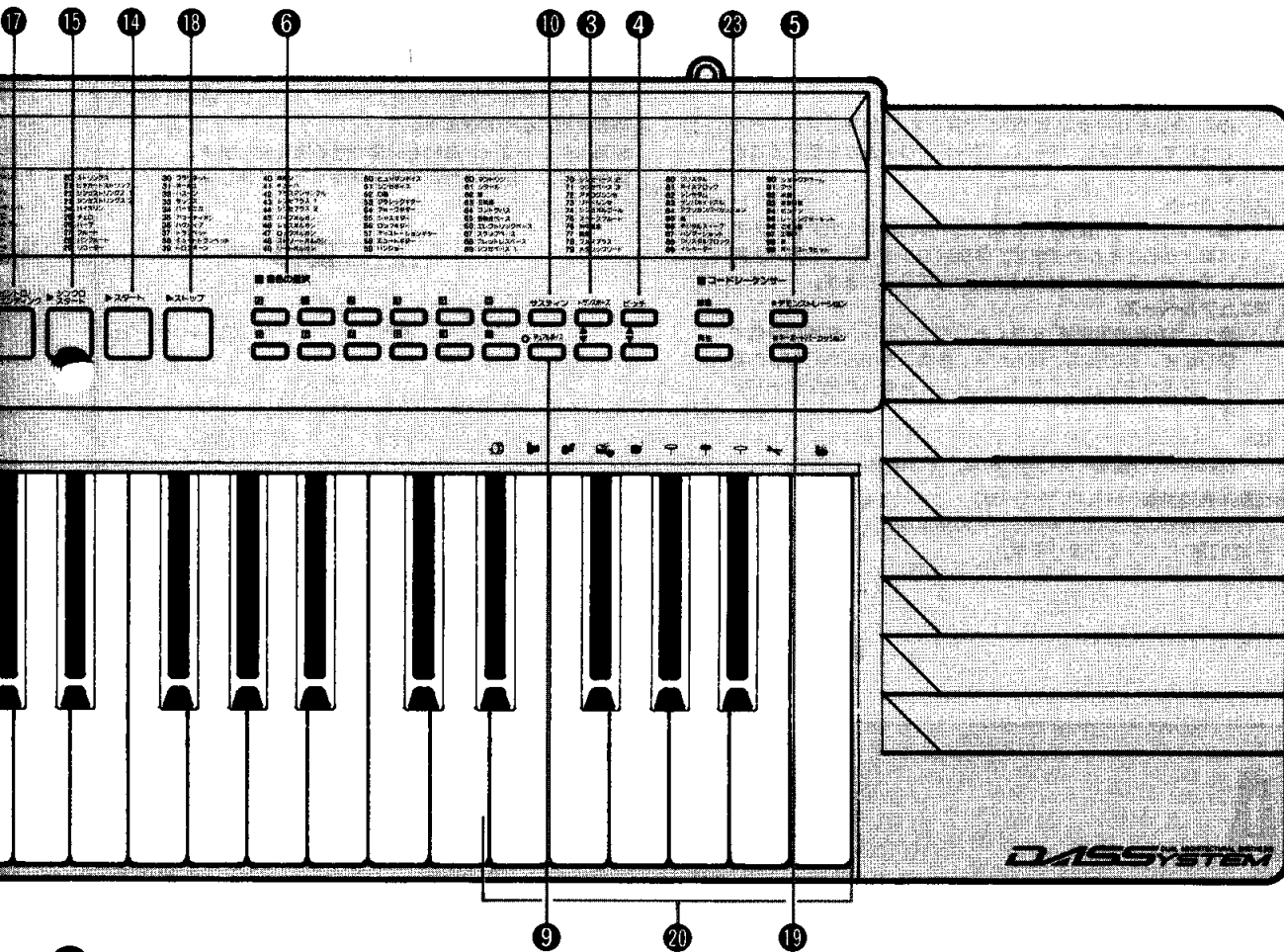
全体のコントロール

- ①電源スイッチ(⇒8ページ)
電源を入れたり、切ったりするスイッチです。電源を入れると、⑧の[LEDディスプレイ]に音色番号の00が表示されます。
- ②総合音量レバー(⇒8ページ)
全体の音量を調節するためのレバーで、右にずらすほど音が大きくなります。
- ③トランスポーズコントロールボタン(⇒8ページ)
トランスポーズ(移調)の量を設定するためのボタンです。
- ④ピッチコントロールボタン(⇒8ページ)
発音のピッチ(音程)を微調整するためのボタンです。他の楽器や録音された音楽に音程を合わせることができます。
- ⑤デモンストレーションボタン(⇒8ページ)
デモンストレーション曲を聴きたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

音色

- ⑥音色の選択ボタン(⇒7ページ)
100種類の中から音色を選ぶためのボタンです。-(マイナス)ボタンは、現在の音色よりも1つ小さい番号の音色にするためのボタンで、+(プラス)ボタンは、現在の音色よりも1つ大きい番号の音色にするためのボタンです。0~9のボタンは、音色を番号で指定する時に使用します。
- ⑦音色のリスト(⇒25ページ)
100種類の“音色の番号と名称”の対応が表記されています。
- ⑧LEDディスプレイ(⇒7, 9, 10ページ)
音色の番号(00~99)が、ここに表示されます。テンポ(速さ)の設定時は、その値が表示されます。また、ビート(拍子)のタイミングも表示されます。
- ⑨デュアルボイスボタン(⇒8ページ)
このボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、デュアルボイス演奏が可能になります。さらに、この状態ではデュアルボイスの音色を順に指定することができます。また、もう一度このボタンを押してランプを消灯させると、デュアルボイスの状態が解除されます。
*デュアルボイス演奏とは?
デュアルボイス演奏は、演奏に対して2つの音色が同時に(重なって)鳴る機能です。音色の組み合わせは、自分で自由に指定できます。

⇒マークのところにくわしく説明してあります。



⑦サスティンボタン (⇒7ページ)

このボタンを押すと、演奏音に自然な余韻がつくようになります。そしてもう一度押すと、効果が解除されて元の状態に戻ります。

伴奏

⑧伴奏スタイルの選択ボタン (⇒9ページ)

16種類の中から伴奏スタイル(リズムの種類)*1を選ぶためのボタンです。

⑨テンポボタン (⇒8ページ)

伴奏(リズム)のテンポ(速さ)を調節するためのボタンです。

⑩伴奏音量レバー (⇒8ページ)

伴奏(リズム)の音量を調節するためのレバーです。

⑪スタートボタン (⇒8ページ)

すぐにリズムをスタートさせる時に押します。

⑫シンクロスタートボタン (⇒9ページ)

自動伴奏用鍵盤を押すと同時に伴奏(リズム)をスタートさせる場合は、このボタンを押します。

⑬イントロ/フィルインボタン (⇒9、10ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、フィルインのパターンを入れる時に押します。

⑭イントロ/エンディングボタン (⇒9、10ページ)

イントロのパターンでリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンで伴奏(リズム)を停止させる時に押します。

※イントロのボタンは2つあります。ボタンによってパターンが異なります。

⑮ストップボタン (⇒10ページ)

伴奏(リズム)を停止させる時に押します。

キーボードパーカッション

⑯キーボードパーカッションボタン (⇒19ページ)

ボタンを押すと、キーボードパーカッションの状態になります。そしてもう一度押すと、キーボードパーカッションの状態が解除されます。

⑰キーボードパーカッション用鍵盤 (⇒19ページ)

キーボードパーカッションの状態では、これらの鍵盤を押すことにより打楽器音を鳴らすことができます。つまり、自分でリズムを奏でることができます。

自動伴奏

①自動伴奏スイッチ(⇒11、12、15ページ)

演奏モードを指定するためのスイッチです。

シングルフィンガー

②の[自動伴奏用鍵盤]を指1本で押さえて、伴奏させることができます。伴奏は、ベース、コード、リズムから成り立ちます。

フィンガード

②の[自動伴奏用鍵盤]を普通のコードの押さえ方で押さえて、伴奏させることができます。伴奏はシングルフィンガーと同じで、ベース、コード、リズムから成り立ちます。

マニュアルベース

②の[自動伴奏用鍵盤]を弾くと、ベースパート向けの音色で鳴ります。どの音色で鳴るかは、伴奏スタイル(リズム)の選択で決まります。(左手でベースパートを弾くためのモードです。)

切

3種類のどの機能も使わない時は、この位置にします。

②自動伴奏用鍵盤(⇒11、12、15ページ)

これらの鍵盤の役割は、演奏モードの指定(①の[自動伴奏スイッチ]の位置)によって決まります。

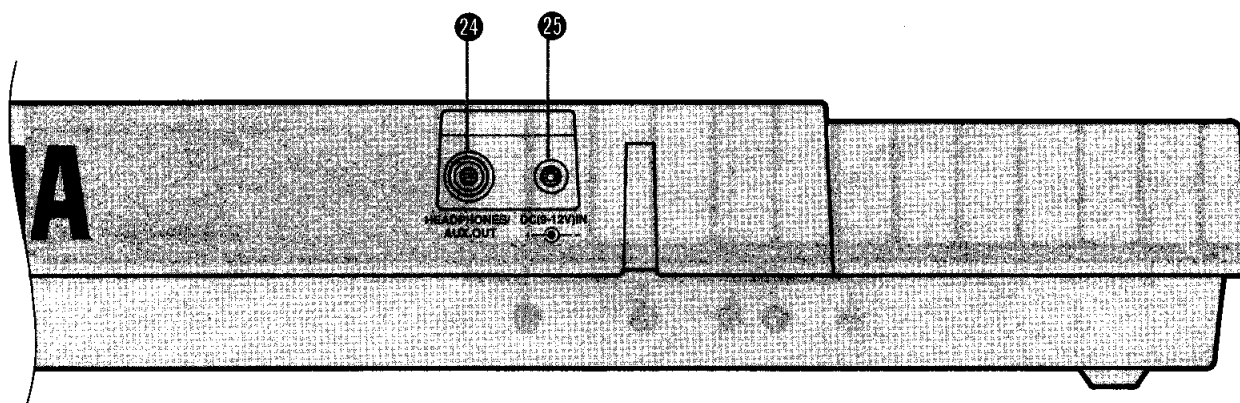
コードシーケンサー

③コードシーケンサーボタン(⇒19ページ)

コード進行(曲の中でのコードの移り変わり)を記憶させることができ、それを後で自由に再生できます。そして、それに合わせて演奏することができます。

録音ボタン；コード進行を記憶させる時に押します。

再生ボタン；記憶させた内容を再生する時に押します。



リアパネル

④ヘッドホン/AUX出力端子(⇒20ページ)

PSR-28の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間練習したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らすことができます。

この端子にプラグを差し込むと、PSR-28のスピーカーからは音が出なくなります。

⑤電源アダプター接続用端子(⇒2ページ)

付属の電源アダプター・PA-1Bを接続するための端子です。PA-1Bを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

- ・ACCOMPANIMENTおよびACCOMP.(アカンパニメント)：伴奏を意味します。
- ・シンクロ：同期を意味します。

- *1: [自動伴奏スイッチ]がシングルフィンガーまたはフィンガードの位置になっていると、ベース、コード、リズムからなる伴奏を鳴らすことが可能。ただしリズムは、切またはマニュアルベースの位置でも鳴らすことが可能です。

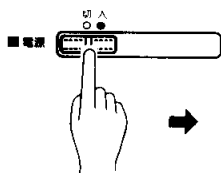
3. ステップ1 (基本編)

1. デモンストレーション曲を聴いてみよう

PSR-28にはお手本としてデモンストレーション曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。

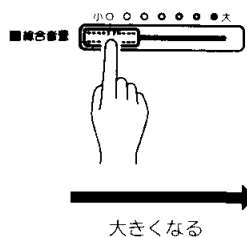
①電源スイッチをオン

電源スイッチを入にして電源を入れます。電源を入れると、LEDディスプレイに00が表示されます。



②音量の調節

あらかじめ総合音量レバーを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットしておきます。



鍵盤を押して、音を出しながら調節してください。

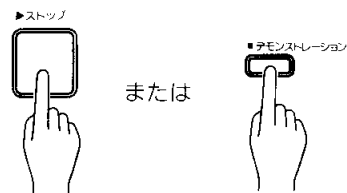
③スタート

デモンストレーションボタンを押して、曲をスタートさせます。



④停止

デモンストレーション曲は、繰り返し再生されます。停止させる時は、ストップボタンまたはデモンストレーションボタンを押してください。



★デモンストレーション曲の再生は、止めるまで何回でも繰り返されます。

★音色は、曲の進行に合わせて次々と切り替わります。

★音色の切り替えが可能です。ただし、曲中の自動切り替えのところにくと、本来の設定に戻ります。

2.好きな音色で弾こう

PSR-28には100種類の音色があります。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

①音色の選択

00～99の100種類の中から、音色を選んでください。

0～9ボタンで指定する場合

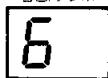
例)音色番号62の琴を選ぶ時は、

6を押して、

■音色の選択

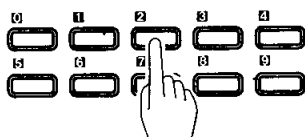


音色/テンポ

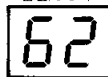


2を押します。

■音色の選択



音色/テンポ



+/-ボタンで指定する場合



(+/-ボタンは、押し続けると連続的に変化します。)

★電源スイッチを入にすると、音色は音色番号00のピアノ1になります。

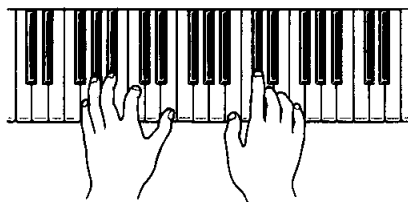
★99の状態でもボタンを押すと00になり、00の状態でもボタンを押すと99になります。

②音量調節

総合音量レバーで音量調節します。

③演奏

好きな曲を弾いてみましょう。



★いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

★同時発音数は8音(8音ポリフォニック)ですが、リズムをスタートさせたり、自動伴奏機能を使ってコードおよびベース音を鳴らしたり、デュアルボイス機能やコードシーケンサー機能を使うと、同時発音数は少なくなります。(26ページ参照)

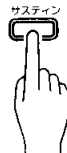
3.音に効果を!

(サステイン、デュアルボイス)

効果を実際にオンにして確かめてみましょう。

●サステイン

サステインは、演奏音に余韻を与える効果です。サステインボタンを押してください。効果をオン/オフできます。



★コード音、ベース音、リズム音には、サステイン効果はかかりません。

★余韻の長さは音色ごとに異なります。

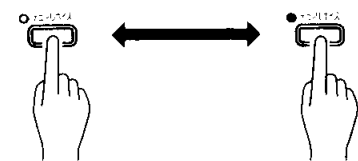
★音色を切り替えると、サステイン効果がオフになります。

●デュアルボイス

2つの音色を選んで同時に鳴らすことができる効果です。デュアルボイスボタンを押してボタン左上のランプを点灯させると、効果がオンになります。組み合わせたい音色を順に指定してください。最後に指定した音色と、1回前に指定した音色の組み合わせになります。



★1曲の中で、デュアルボイスボタンを押してオンの状態とオフの状態を使い分けると効果的です。



オフ(1音色)

最後に選んだ音色

オン(2音色)

最後に選んだ音色と
その前に選んだ音色
の組み合わせ

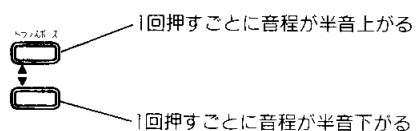
★コード音、ベース音、リズム音には、デュアルボイス効果はかかりません。

★デュアルボイス効果をオンにすると、演奏音の同時発音数はそれまでの半分になります。

★電源スイッチを入にしてから一度も音色を切り替えていなければ、デュアルボイスの状態にした時、音色番号00 ピアノ1と99 オーケストラヒットの組み合わせになります。

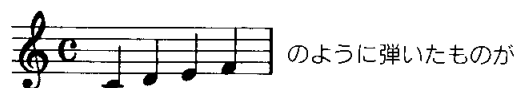
4. 音程を変えるには？ (トランスポーズ)

トランスポーズコントロールボタンで音程を変えることにより、押さえる鍵盤(連指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)音を聴きながら、±6半音の範囲で設定できます。



★つまり±6半音の範囲ですから、“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば値を5、つまり+5半音高くした場合は、



- ★電源スイッチを入にした時は、いつも元の高さ(±0)に戻っています。また、トランスポーズコントロールボタンの▲と▼を同時に押して元の高さに戻すこともできます。
- ★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキー(調)を合わせる時にも便利です。

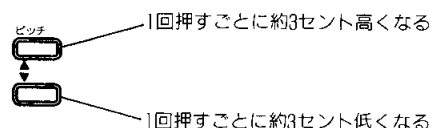
5. 他の楽器と音程を 合わせるには？(ピッチ)

ピッチコントロールボタンにより、発音の高さ(ピッチ)を微調整することができます。つまり、合奏をする場合など、この機能により他の楽器と音程を合わせることができます。

±25セントの範囲、約3セントステップで設定できます。

(参考：100セント=半音)

音を聴きながらこきざみに合わせてください。



- ★ボタンを押し続けると、設定が連続的に変化します。
- ★電源スイッチを入にした時は、いつも標準の高さ(±0)に戻っています。(±0の時、A₃=440Hz)また、ピッチコントロールボタンの▲と▼を同時に押し、標準の高さに戻すこともできます。

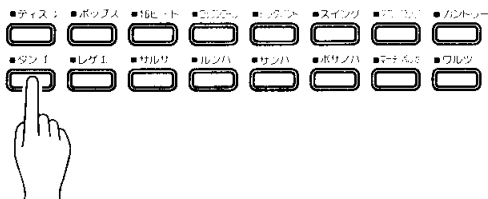
6. リズムに合わせて弾こう

PSR-28には16種類のリズムがあります。いろいろなリズムに切り替えて、それに合わせて弾いてみましょう。

①リズムの選択

伴奏スタイルの選択ボタンを押して、リズムを指定します。

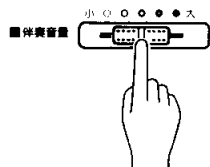
■ 伴奏スタイルの選択



- ★電源スイッチを入にした時は、ディスコのリズムになっています。
- ★リズムを同時に2つ指定して、いっしょに鳴らすことはできません。

②リズム音の音量調節

リズム音は総合音量レバーの設定によっても変化しますが、伴奏音量レバーによる設定によっても変化します。必要であれば、伴奏音量レバーで音量調節してください。

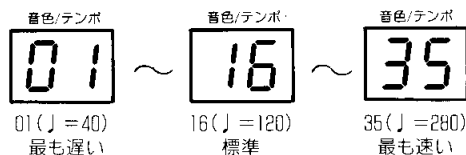
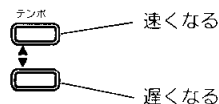


③リズムの速さ指定

LEDディスプレイを見ながら設定できますが、曲の速さが楽譜に書かれていない場合など、テンポがあらかじめ判らない時は、④の操作の後、実際に音を聴きながら設定してください。

※楽譜には“1分間の拍数”で書かれていますが、PSR-28では01～35の値で表示されます。この対応表を見て、表示値(設定値)を確認してください。

1分間の拍数 (表示値)	J = 40	48	56	64	70	76	82
	(01)	(02)	(03)	(04)	(05)	(06)	(07)
	88	92	96	100	104	108	112
	(08)	(09)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
	116	120	126	132	138	144	152
	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)
	160	168	176	184	192	200	208
	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)
	216	226	236	246	256	268	280
	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)

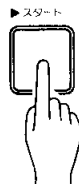


- ★電源スイッチを入にした時は、いつも標準の16 (J=120)に戻っています。また、テンポボタンの▲と▼を同時に押して16に戻すこともできます。
- ★操作後約1秒経過すると、この表示から音色番号表示に戻ります。

④リズムのスタート

リズムをスタートさせます。スタート方法には大きく分けて3種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

- ・すぐにスタートさせる場合……スタートボタンを押す。

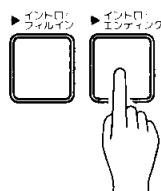


- ・演奏の開始と共にスタートさせる場合……シンクロスタートボタンを押す。



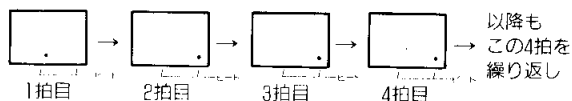
シンクロスタート待ちの時、LEDディスプレイ内の左の点が4分音符のタイミングで点滅して、リズムの速さを示します。低音側の鍵盤(自動伴奏用鍵盤)を弾くとスタートします。

- ・イントロのパターンからスタートさせる場合……イントロ/フィルインまたはイントロ/エンディングボタンのどちらかを押す。



好みのパターンのボタンを押す。なお、イントロパターンはどちらも1小節です。

★リズムをスタートさせた後は、LEDディスプレイ内の点が次のように点灯します。



★演奏中にシンクロスタートボタンを押すとリズムが止まります。そして、自動伴奏用鍵盤を弾くと再びリズムが鳴り出します。ブレイクの時に便利です。

★リズムをスタートさせると、同時発音数が少なくなります。

⑤フィルイン

イントロ/フィルインボタンを押すことにより、フィルインのパターンを入れることができます。



★フィルインは、最長で1小節です(押すタイミングで長さが異なります。)また、押し続けるとフィルインのパターンが繰り返されます。

★フィルインパターンが鳴っている最中にもう一度押すと、その時点で普通のパターンに戻ります。

⑥別のリズムへの切り替え

演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。

★リズムを切り替えても、切り替え前のリズムのテンポが維持されます。

⑦停止

リズムを停止させます。停止方法には2種類ありますので、曲調や好みに合わせてお選びください。

・すぐに停止させる場合……ストップボタンを押す。



・エンディングのパターンで停止させる場合……イントロ/エンディングボタンを押す。



イントロ/エンディングボタンを押した小節から次の小節までエンディングパターンが鳴って停止します。エンディングパターンは2小節の長さです。なお、小節最後の1拍以降にイントロ/エンディングボタンを押した場合は、次の小節から2小節のエンディングパターンが鳴って停止します。

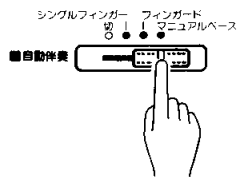
7. 低音側でベースパートの演奏をしよう (マニュアルベース)

マニュアルベース機能を使うことにより、低音側の鍵盤(自動伴奏用鍵盤)の音を、ベースパート向けの音色にすることができます。

ベースパート音色は、どの伴奏スタイル(リズム)を選択したかによって決まります。もちろん、高音側の音色は通常通り自由に指定できます。

① マニュアルベース演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをマニュアルベースの位置に切り替えます。



★マニュアルベースの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

② リズムの選択

リズムを鳴らす場合は、演奏する曲に合ったリズムを指定します。これにより、ベースパートの音色が決まります。

リズムを鳴らさない場合は、伴奏スタイルの選択ボタンを1つずつ押していき、低音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにするベースパート用の音色を選びます。

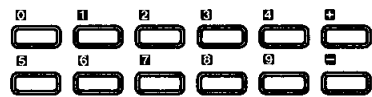
■ 伴奏スタイルの選択



③ 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色の選択ボタンで指定します。

■ 音色の選択



★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

★マニュアルベースの状態にした場合は低音側の同時発音数は1音、高音側の同時発音数は4音ですが、デュアルボイス機能を使うと、高音側の同時発音数は2音になります。

● 練習曲 「青い影」のイントロを弾いてみましょう。左手(低音側)でベースパート、右手(高音側)でメロディーパートを弾きます。

青い影 (A WHITER SHADE OF PALE)

作曲: K. Reid & G. Brooker

● セッティング

リズム	テンポ	自動伴奏スイッチ	高音側音色
ロックンロール	09 (♩=92)	マニュアルベース	46 ジャズオルガン

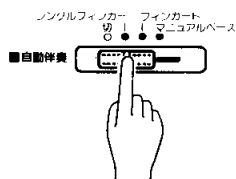


8. シングルフィンガーコードで楽々演奏

シングルフィンガー機能を使うと、コードを押さえなくても、簡単にコード(和音)+ベース音を鳴らすことができます。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2,3鍵押さえるだけでOKです。コード音+ベース音は自動伴奏用鍵盤を弾いて鳴らします。さらにこの状態でリズムをスタートさせると、ベース音、コード音、リズム音から成る自動伴奏を鳴らすことができます。

① シングルフィンガーコード演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをシングルフィンガーの位置に切り替えます。



★シングルフィンガーの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色の選択ボタンで指定します。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

★低音側(自動伴奏用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定したリズムの種類によって自動的に決まります。

③ 伴奏スタイルの指定

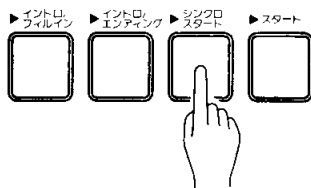
和音だけでなく、自動伴奏音全てを鳴らす場合は、伴奏スタイル(リズム)を指定します。

④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

⑤ スタート

自動伴奏を鳴らす場合は、スタート方法を選択します。



⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(自動伴奏用鍵盤)を押した時点でスタートします。

★鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC_mの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC₇の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC_{m7}の場合なら、



のように押します。

★コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★自動伴奏の場合は、低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

- MaJ7(メジャー セブンス)
 - aug(オーギュメント)
 - dim(ディミニッシュ)
 - 6th(シックス)
 - sus4(サスフォー)
 - m7-5(マイナー セブンス
フラット ファイブ)
 - m6(マイナー シックス)
 - 7sus4(セブンス サスフォー)
 - 7-5(セブンスフラット ファイブ)
- } →メジャーコード
- } →マイナーコード
- } →セブンスコード

⑦ 演奏の終了

演奏を終了します。なお自動伴奏は、ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押すと終了します。

シングルフィンガーコード一覧表

検出できるシングルフィンガーコードの一覧表です。
これら以外は、前ページで示したように置き換えて押しください。

メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C [♯] /D ^b	
D	
D [♯] /E ^b	
E	
F	
F [♯] /G ^b	
G	
G [♯] /A ^b	
A	
A [♯] /B ^b	
B	

マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C [♯] m/D ^b m	
Dm	
D [♯] m/E ^b m	
Em	
Fm	
F [♯] m/G ^b m	
Gm	
G [♯] m/A ^b m	
Am	
A [♯] m/B ^b m	
Bm	

セブンコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C ₇	
C [#] ₇ /D ^b ₇	
D ₇	
D [#] ₇ /E ^b ₇	
E ₇	
F ₇	
F [#] ₇ /G ^b ₇	
G ₇	
G [#] ₇ /A ^b ₇	
A ₇	
A [#] ₇ /B ^b ₇	
B ₇	

マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm ₇	
C [#] m ₇ /D ^b m ₇	
Dm ₇	
D [#] m ₇ /E ^b m ₇	
Em ₇	
Fm ₇	
F [#] m ₇ /G ^b m ₇	
Gm ₇	
G [#] m ₇ /A ^b m ₇	
Am ₇	
A [#] m ₇ /B ^b m ₇	
Bm ₇	

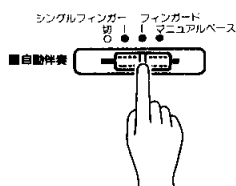
4. ステップ2(活用編)

1. フィンガードコードで演奏

フィンガード機能を使って、自動伴奏させてみましょう。フィンガード機能を使う場合は、普通のコードの押え方で低音側の鍵盤を弾きます。なおフィンガード機能を使った場合は、シングルフィンガー機能を使った場合に比べて、より多くのコードを使い分けることができるため、演奏しようとする曲が持つ本来の微妙な雰囲気表現しやすくなります。

① フィンガードコード演奏可能状態に

自動伴奏スイッチをフィンガードの位置に切り替えます。



★フィンガードの状態にすると、高音側の同時発音数が少なくなります。

② 高音側の音色指定

高音側の鍵盤を弾いた時に鳴るようにする音色を、音色の選択ボタンで指定します。

★デュアルボイス機能もオンしている場合は、この状態で、高音側の2音色分を指定してください。続けて指定すればOKです。

★低音側(自動伴奏用鍵盤)を弾いた時に鳴る音の音色は、指定した伴奏スタイルによって自動的に決まります。

③ 伴奏スタイルの指定

自分が演奏しようとする曲に最も適した伴奏スタイルを指定します。

④ 音量調節

低音側の音量を伴奏音量レバーで調節できますので、この操作で高音側とのバランスをとってください。そして、全体的な音量は総合音量レバーで調節します。

⑤ スタート

スタート方法を選択します。スタート方法には大きく分けて、スタート、シンクロスタート、イントロスタートの3種類があります。

⑥ 演奏の開始

演奏を開始します。なお、自動伴奏は低音側の鍵盤(自動伴奏用鍵盤)を押した時点でスタートします。

★低音側の鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり低音側の鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

★コードを変える時、鍵盤から指を離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離れた上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

★フィンガードの場合は、次の7種類のコードを検出できます。その他のコードは、これらのコードに置き換えて押してください。(17、18ページの“フィンガードコード一覧表”を参照)

- ・メジャー
- ・マイナー
- ・セブンス
- ・マイナー セブンス
- ・メジャー セブンス
- ・マイナー セブンス フラット ファイブ
- ・セブンス サスフォー

★7種類のコード以外や押鍵ミスの場合は、正しい和音で鳴らなくなります。

★演奏中にシンクロスタートボタンを押すと自動伴奏が止まり、低音側の鍵盤を押すと再びスタートします。ブレークの時に便利です。

⑦ 演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。

●練習曲

シングルフィンガーコードまたはフィンガードコードで、「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

ラブ・ミー・テンダー (LOVE ME TENDER)

作詞・作曲：E. Presley & V. Matson

●セッティング

リズム	テンポ	自動伴奏スイッチ	高音側音色
スローロック	08(J=88)	シングルフィンガーまたはフィンガード	30 クラリネット

シングル
フィンガー
コード
フィンガード
コード



Musical staff 1: Treble clef, C major key signature. Chords: C, C, D7, G7, C.

Musical staff 2: Treble clef, C major key signature. Chords: C, D7, G7, C.

Musical staff 3: Treble clef, C major key signature. Chords: C, E7, Am, C7, F, Fm, C.

Musical staff 4: Treble clef, C major key signature. Chords: C, A7, D7, G7, C.

日本音楽著作権協会(出)許諾第9070399-001号
Copyright © 1956 by ELVIS PRESLEY MUSIC, INC.
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

フィンガードコード一覧表 *マークの付いたコードは転回形、それ以外は全て基本形で書かれています。

メジャー コード



マイナー コード



セブンス コード



マイナー セブンス コード



メジャー セブンス コード

マイナー セブンス フラット
ファイブ コード

セブンス サスフォー
コード

CM₇

Cm₇⁻⁵

C₇SUS₄

C[#]M₇
(D[♭]M₇)

C[#]m₇⁻⁵
(D[♭]m₇⁻⁵)

C[#]₇SUS₄
(D[♭]₇SUS₄)



DM₇

Dm₇⁻⁵

D₇SUS₄

D[#]M₇
(E[♭]M₇)

D[#]m₇⁻⁵
(E[♭]m₇⁻⁵)

D[#]₇SUS₄
(E[♭]₇SUS₄)

EM₇

Em₇⁻⁵

E₇SUS₄

FM₇

Fm₇⁻⁵

F₇SUS₄

F[#]M₇
(G[♭]M₇)

F[#]m₇⁻⁵
(G[♭]m₇⁻⁵)

F[#]₇SUS₄
(G[♭]₇SUS₄)

GM₇

Gm₇⁻⁵

G₇SUS₄



G[#]M₇
(A[♭]M₇)

G[#]m₇⁻⁵
(A[♭]m₇⁻⁵)

G[#]₇SUS₄
(A[♭]₇SUS₄)

AM₇

Am₇⁻⁵

A₇SUS₄

A[#]M₇^{*}
(B[♭]M₇)

A[#]m₇⁻⁵
(B[♭]m₇⁻⁵)

A[#]₇SUS₄
(B[♭]₇SUS₄)

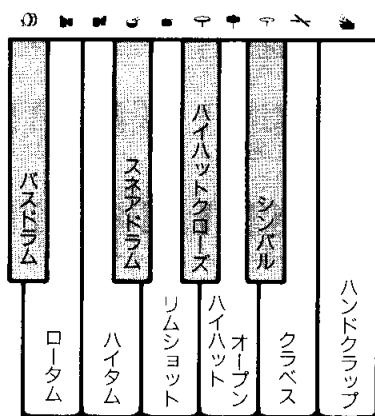
BM₇^{*}

Bm₇⁻⁵^{*}

B₇SUS₄^{*}

2. 打楽器を担当してしまおう (キーボードパーカッション)

キーボードパーカッション機能を使うことにより、自分でリズムを奏でることが可能になります。キーボードパーカッションの状態にすると、10鍵(キーボードパーカッション用鍵盤)に各打楽器が割り当てられますので、鍵盤を押すことにより音を出すことができます。他の楽器とアンサンブルをしたり、PSR-28で曲を演奏している途中で打楽器音をフィルインすることができます。



①キーボードパーカッションをオン

キーボードパーカッションボタンを押して、キーボードパーカッション機能をオンにします。



オンにすると、LEDディスプレイの表示が次のようになります。



もう一度押すとオフになります。

②演奏します。

キーボードパーカッション用鍵盤を、リズムどおりにうまく組み合わせて押してください。

- ★打楽器音の音量は総合音量レバーの設定によっても変化しますが、伴奏音量レバーによる設定によっても変化します。必要であれば、伴奏音量レバーで音量調節してください。
- ★PSR-28にあらかじめセットされているリズムを鳴らしながら、この機能を働かせることはできません。
- ★PSR-28にあらかじめセットされているリズムを鳴らしている途中で、キーボードパーカッションボタンを押せば、リズムを休止させることができ、キーボードパーカッション用鍵盤を押して自分でリズムのフィルインを演奏することができます。再びリズムを鳴らす時は、もう一度キーボードパーカッションボタンを押してください。

3. コード進行を記憶させよう (コードシーケンサー)

コード進行を記憶させる(録音する)ことができます。記憶させることができるのは、リズムをスタートさせてから停止させるまでの間です。

コード進行を記憶させておけば、それを再生しながら他のパートを演奏することができますので、数パートで構成された曲でも簡単に演奏できるようになります。なおコード進行を記憶させた後、それに合わせて演奏する時、全ての鍵盤を使用できます。(高音側の鍵盤でなければならないという鍵盤の制限がなくなります。)

- ★最大で40ケのコードを記憶させることができます。
- ★記憶後、電源スイッチを切にすると記憶させたコード進行は消えてしまいます。

コード進行の記憶

①伴奏スタイルの選択

曲に合った伴奏スタイルを選んでください。

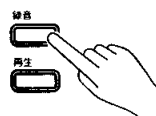
②演奏モードの指定

自動伴奏スイッチで、シングルフィンガーで記憶するかフィンガードで記憶するか指定します。

③記憶スタート待ちの状態に

コードシーケンサーの録音ボタンを押します。すると、記憶スタート待ちの状態になります。

■コードシーケンサー



★記憶スタート待ちの状態にするとメトロノーム音が1拍ごとに鳴り出し、LEDディスプレイ内左側の点も1拍ごとに点滅します。

★この操作をした時点で、自動伴奏スイッチがフィンガーの位置になっている場合以外は、必ずシングルフィンガーに自動設定されます。

④テンポ調節

演奏しやすい速さにします。

⑤必要に応じてスタート方法を変更

シンクロスタートをやめて、スタートやイントロスタートに変更することもできます。変更する場合はそれぞれのボタンを押しますが、ボタンを押した時点から記憶が開始されます。

⑥演奏の開始

シンクロスタートの場合には、演奏を開始した時点から記憶が開始されます。曲の流れに従ってコードを押していくてください。

★検出されない押え方をしたレコードについては、記憶されません。前のコードが持続されます。

⑦演奏の終了

ストップボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して演奏を終了します。リズムが止まった時点で記憶完了です。

★コードシーケンサーの録音ボタンや再生ボタンを押して、記憶完了させることもできます。

★記憶コード数が一杯になると、記憶がそこで強制的に完了します。

★記憶しなおすと、前の内容が消えます。

★記憶中に演奏を失敗した時は、シンクロスタートボタンを押してください。⑤の操作からやり直すことができます。

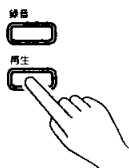
★イントロは記憶させることができますが、フィルインとエンディングは記憶されません。

コード再生

①再生スタート待ちの状態に

コードシーケンサーの再生ボタンを押します。すると、再生スタート待ちの状態になり、LEDディスプレイ内左側の点が1拍ごとに点滅します。

■コードシーケンサー



★この操作をした時点で、シンクロスタート待ちの状態になります。

②再生の開始

鍵盤またはスタートボタンを押して、再生を開始させます。またイントロ/フィルインボタンまたはイントロ/エンディングボタンを押して、イントロパターンを付けて再生させることもできます。

③必要に応じて……

再生音に合わせて、演奏することができます。

④再生の終了

最後まで再生されると自動的に停止しますが、途中でストップボタンやイントロ/エンディングボタンを押して終了させることも可能です。

★再生終了後、再び再生スタート待ちの状態になります。

再生スタート待ちを解除する時は、コードシーケンサーの再生ボタンまたはストップボタンを押して、LEDディスプレイ内左側の点の点滅を消灯させてください。

★テンポや伴奏スタイルを変えて再生させたり、フィルインを入れることも可能です。

★同時発音数には制限があります。

4. 他の機器と接続するには？

リアパネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。

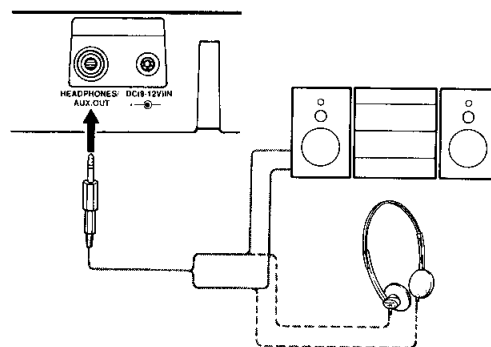
・ヘッドホン/AUX出力端子

この端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドホンを接続して外に音を出さずに演奏できます。

※ステレオに接続した時はPSR-28の総合音量レバーは8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

※この端子にプラグを差し込むと、PSR-28のスピーカーからは音が出なくなります。

※ステレオに接続する場合は、接続コード(23ページ参照)とステレオ変換プラグが必要です。



・電源アダプター接続用端子(2ページ参照)

付属の電源アダプター・PA-1Bを接続するための端子です。

5.資料

1.練習曲

とんぼ

作詞・作曲：長瀬剛

コードシーケンサーの機能を使い、あらかじめコードを記憶させておくと演奏しやすくなります。
コードはシングルフィンガーコード、フィンガードコードのどちらで弾いてもかまいません。

●セッティング

リズム	テンポ	音色	効果
ロックンロール	14(J =112)	33 サックス	サスティンオン

シングルフィンガーコード

フィンガードコード

G D7 Em

Woo Woo- Woo WooWooWoo-

C D7 Em C

音色：34 ハーモニカ

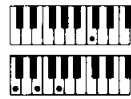
3 G Am7

コツコ ツとアスファルトに きざ む あしお とをふみしめるた びに おれは
らなこころたちが みえ て やりき れないよるをかぞ え のがれ

1 G

おれーで ありつ づきたい そうね がつた うらは
られない やみの

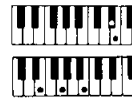
シングル
フィンガー
コード
フィンガー
コード



音色：44 シンセプラス2

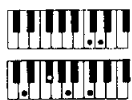
2 Am7 G D7 G C

なかで きょうも ねむったふりをする しに たいくらいにあこがれた はなの
いたにかいすなをかむと ねじふ



G D7 Em

みやこだ いとう きょう うすっ べらな ポストバッグ きたへきたへむ かった ざらつ
せられた しょうじき さが いまご

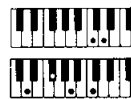
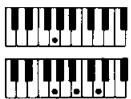
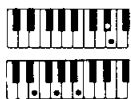
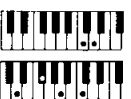


フィルイン1

音色：47 ロックオルガン

2 D7 G G

ろに なって や けにほねみにしみる あ あ しあわ
しあわ



D7 Em C G D7

せのー とんぼ よ どこへー おまえは どこへー とんでゆ
せのー とんぼ がー ほ ら したを



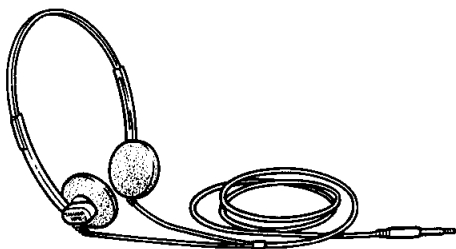
エンディング

G D7 G D7 G

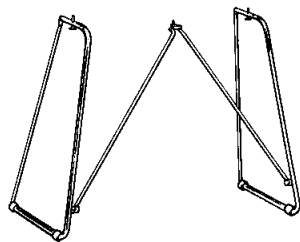
く あ だしてー わらってらー

2. オプション(別売品)のご紹介

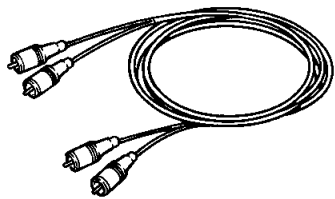
ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000



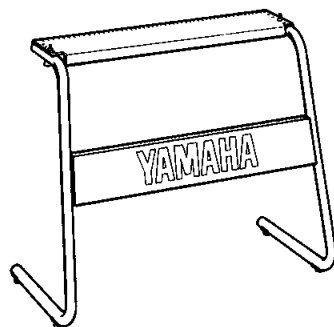
スタンド・L-2 ¥6,000



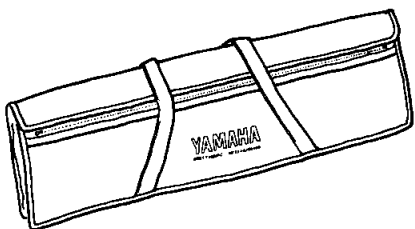
接続コード・PSC-3(ステレオ) ¥1,000



スタンド・L-4 ¥9,000



専用ソフトケース・SCC-11 ¥6,000



*表示の価格には、消費税は含まれていません。

3. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思ったら時は、この表を見てください。

現象	原因	解決法
電源スイッチを入または切にした時、“ポツン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから全く音が出ない。	音量が下がっている。	総合音量レバーを上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
リズムがスタートしない。リズムの音が出ない。	伴奏音量レバーが下がっている。	伴奏音量レバーを上げてください。
	スタートさせていない。	スタートボタン等を押してください。
	シンクロスタート待ちの状態になっている。	自動伴奏用鍵盤を押してください。
低音側の音が出ない。	伴奏音量レバーが下がっている。	伴奏音量レバーを上げてください。
	高音側を弾いている。	自動伴奏用鍵盤を押してください。
自動伴奏されない。	シングルフィンガーまたはフィンガードの状態になっていない。	自動伴奏スイッチを、シングルフィンガーまたはフィンガードの位置にしてください。
	フィンガードの状態、シングルフィンガーの押さえ方をしている。	17ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
途中から音階がおかしくなる。	自動伴奏用鍵盤を押している。	シングルフィンガーやフィンガード、マニュアルベースの状態になっているため、そのようになります。
思ったとおりの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。
	正確に押さえしていない。	13ページの“シングルフィンガーコード一覧表”、17ページの“フィンガードコード一覧表”等をご覧ください。
マニュアルベース機能をオンできない。	コードシーケンサー機能を働かせている。またはデモンストレーションが再生状態になっている。	マニュアルベース機能は、コードシーケンサー機能やデモンストレーション機能を働かせている時、働かせることができません。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	制限数以上の音は、鳴らないしくみになっています。
選んでいない音色で鳴る。	自動伴奏スイッチをオ以外の位置にしている。	低音側の音色は高音側の音色と異なります。
サスティンおよびデュアルボイス効果がかからないパートがある。	かかるパートが決まっているため。	リズム音、コード音、ベース音には、効果はかかりません。
記憶させておいたコード進行が消えている。	電源を切った。	電源を切ると消えます。
パネル上のランプが暗くなったり、誤動作がおきたりする。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換してください。

4.仕様

●鍵盤 一段鍵盤49鍵(C₁~C₈)

●ボイス

ボイス(100音色)

00 ピアノ1	25 チェロ	51 シンセボイス	77 風景
01 ピアノ2	26 ハープ	52 口笛	78 ファズブラス
02 ホンキートンクピアノ	27 フルーツ	53 クラシックギター	79 メタリックリード
03 エレクトリックピアノ1	28 バンフルート	54 フォークギター	80 クリスタル
04 エレクトリックピアノ2	29 リコーダー	55 ジャズギター	81 アイスブロック
05 ハープシコード	30 クラリネット	56 ロックギター	82 シンセタム
06 クラビ	31 オーボエ	57 ディストーションギター	83 サンバホイッスル
07 シンセクラビ	32 バスーン	58 ミュートギター	84 アフリカンパーカッション
08 チェレスタ	33 サックス	59 バンジョー	85 鳥
09 おもちゃのピアノ	34 ハーモニカ	60 マンドリン	86 デジスイープ
10 ピブラフォン	35 アコーディオン	61 シタール	87 ハンマーショット
11 チャイム	36 バグパイプ	62 琴	88 クリスタルブロック
12 シロホン	37 トランペット	63 三味線	89 インベーター
13 マリンバ	38 ミュートトランペット	64 コントラバス	90 ショックアラーム
14 バンブーマリンバ	39 トロンボーン	65 弓弾きベース	91 アウ!
15 ティンパニ	40 ホルン	66 エレクトリックベース	92 水滴
16 スチールドラム	41 チューバ	67 スラップベース	93 非常警報
17 カリンバ	42 プラスアンサンブル	68 フレットレスベース	94 ビューツ
18 ガムラン	43 シンセブラス1	69 シンセベース1	95 レーシングサーキット
19 オルゴール	44 シンセブラス2	70 シンセベース2	96 こする音
20 スtrings	45 パイプオルガン	71 シンセベース3	97 工事中
21 ピチカートStrings	46 ジャズオルガン	72 アナログシンセ	98 波
22 シンセStrings1	47 ロックオルガン	73 リードシンセ	99 オーケストラヒット
23 シンセStrings2	48 ストリートオルガン	74 シンセオルゴール	音色の選択ボタン(0~9、+, -)
24 バイオリン	49 リードオルガン	75 スペースフルート	音色のリスト(00~99)
	50 ヒューマンボックス	76 水中遊泳	

●効果 サスティン、デュアルボイス

●ボリューム 伴奏音量レバー、総合音量レバー

●伴奏 伴奏スタイルの選択ボタン(16種類:ディスコ、ポップス、16ビート、ロックンロール、ビッグバンド、スイング、スローロック、カントリー、タンゴ、レゲエ、サルサ、ルンバ、サンバ、ボサノバ、マーチ/ポルカ、ワルツ)

●リズムコントロール テンポ(▲、▼)、シンクロススタート、スタート、ストップ、イントロ/エンディング、イントロ/フィルイン

●キーボードパーカッション キーボードパーカッションボタン キーボードパーカッション用鍵盤(バスドラム、ロータム、ハイタム、スネアドラム、リムショット、ハイハットクローズ、ハイハットオープン、シンバル、クラベス、ハンドクラップ)

●自動伴奏スイッチ 切/シングルフィンガー/フィンガード/マニュアルベース

●コードシーケンサー 再生、録音、記憶コード数:最大40

●その他コントロール 電源スイッチ、トランスポーズ(▲▼)、ピッチ(▲▼)、デモンストレーション

●ディスプレイ 2桁LEDディスプレイ(ボイス、テンポ、ビート)

●付属端子 ヘッドホン/AUX出力端子、電源アダプター接続用端子

●メインアンプ 2.5W×1

●スピーカー 12cm(8Ω)×2

●定格電源 DC9V:電源アダプター・PA-1B 単1乾電池6本

●消費電力 電源アダプター使用時:6W 乾電池使用時:3W

●外装仕上げ スチロール樹脂・アクリルラッカー塗装

●寸法(譜面立て取り外し時) (間口)982mm×(奥行)291mm×(高さ)112mm

●重量(乾電池重量含まず) 4.5kg

●付属品 電源アダプター・PA-1B、譜面立て、和文シート

5.発音数一覧表

ここでは、各モードにおける同時発音数を表にします。

○：機能オン、×：機能オフ

リズム	シングルフィンガー/ フィンガード	マニュアル ベース	同時発音数
×	×	×	演奏8(4)音、キーボードパーカッション3音
○	×	×	演奏5(2)音
○	○	×	高音側4(2)音、コード3音、ベース1音
×	○	×	高音側4(2)音、コード3音、ベース1音、 キーボードパーカッション3音
○	×	○	高音側4(2)音、ベース1音
×	×	○	高音側4(2)音、ベース1音、 キーボードパーカッション3音

()内の音数は、デュアルボイスオン時の最大同時発音数を表わします。

6.アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいなと思ったら”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで休間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

[修理受付および修理品お預り窓口]

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL.0263-32-5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL.03-255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ機宮竹工場内 TEL.0534-65-1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ機名古屋流通センター3F TEL.052-652-2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL.075-361-6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ機千里丘センター内 TEL.06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ機神戸店內 TEL.078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ機高松店内 TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
[本社] 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL.011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL.022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03-572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2130
本社 電子楽器営業部	〒430 浜松市中沢町10-1
ポータブル楽器営業課	TEL.0534-60-3271

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA feelin' club



T4960693043288